



BricsCAD®

ネットワークライセンス 導入ガイド (Reprise版)

2022.04

Index

- 1 Bricsysネットワークライセンスマネージャ (RLM) の概要
- 2 Bricsysネットワークライセンスマネージャ (RLM) のダウンロードとインストール
- 3 ネットワークライセンスのアクティベーション
- 4 オンラインでのアクティベーション
- 5 オフライン (手動) でのアクティベーション
- 6 クライアント P C のライセンス設定と確認
- 7 ライセンスマネージャの管理画面概要
- 8 導入時に多いトラブルと対処方法
-
-



1



Bricsys ネットワークライセンス マネージャ (RLM) の概要



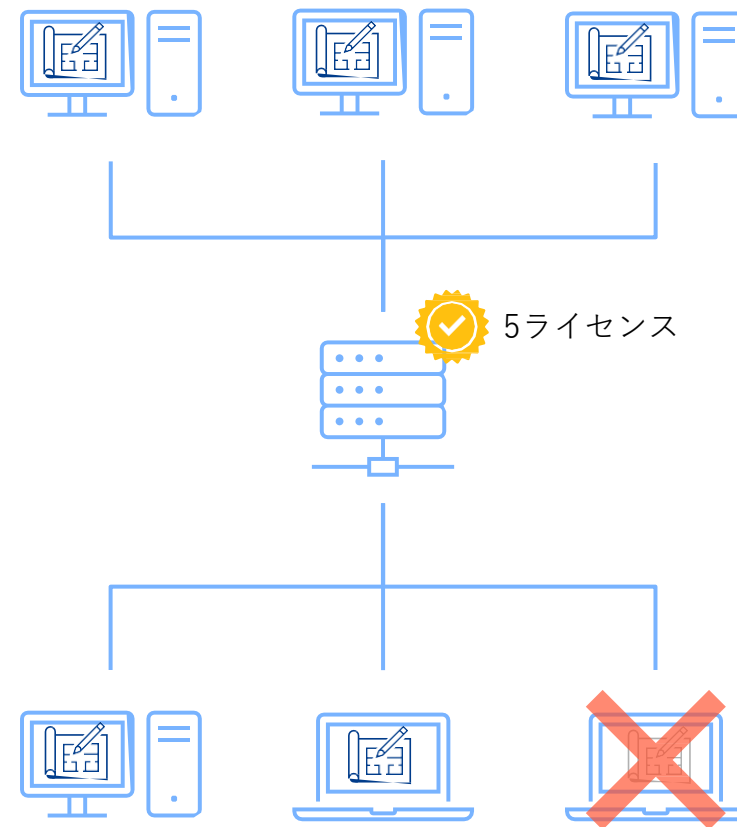
BricsCAD[®] のネットワークライセンス（Reprise版）について

BricsCAD のネットワーク ライセンスを使用すると、同じ TCP/IP ネットワーク上の多くのユーザーが BricsCAD ライセンスの共有プールにアクセスしてライセンスを使用できます。

社内のサーバーにインストールする Reprise License Manger (ネットワークライセンスマネージャ)を使用して、BricsCAD のライセンス・プールの配布を制御することで、ライセンス数を抑えた運用を検討することができます。

ネットワークライセンスは、BricsCADメンテナンスを契約している必要があります。

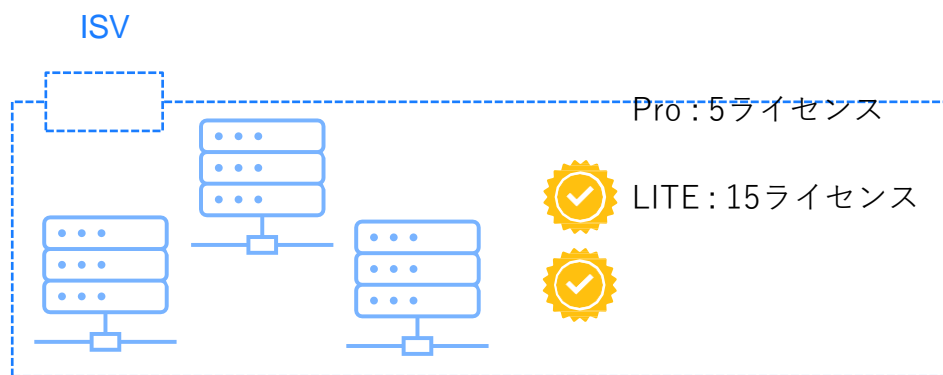
図研アルファテック 株式会社様にて提供されている、FlexNet のライセンスサーバーとは異なりますのでご注意ください。



BricsCAD® のネットワークライセンス (Reprise版)

Reprise のネットワークライセンスでは以下のようなことができます

-
- 1つのライセンスサーバーで複数のグレードやバージョンのライセンスを管理。
- ライセンスマネージャの管理画面から使用数や稼働状況の確認と設定の更新。
- 最大30日間ネットワークから切り離して使用できるローミング (借用) 設定。
- ライセンスを使用するユーザのコントロール。
(使用グレードやローミング (借用) の設定も可能。)
- 複数サーバーでライセンスを共有管理する構成が可能。
- 利用ログの保存が可能。 (外部ツールでレポートデータを可視化できます。)



管理画面

bricsys software version		v12.2 (build:2)
bricsys settings version		v12.2 (build:2)
bricsys comm version		v1.2
debug log file		bricsys.dlog
report log file		C:\temp\primreport_bricsys.log

bricsys Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start Time	03/30 09:37:28	03/30 09:37:30	03/30 15:13:02
Messages	56 (0/sec)	56 (0/sec)	2 (0/sec)
Connections	5 (0/sec)	5 (0/sec)	1 (0/sec)
Checkouts	3 (0/sec)	3 (0/sec)	0 (0/sec)
Denials	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
License Removals	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Current Connections	3		

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	timeout	share	checkouts	Show Usage
bricscad	1	22	17-apr-2022	0	3	1	3	0	User&Host	2	usage...
bricscad	2	22	23-apr-2022	0	2	0	2	0	User&Host	1	usage...



2

“ Bricsysネットワークライセンス マネージャ (RLM) の ダウンロードとインストール

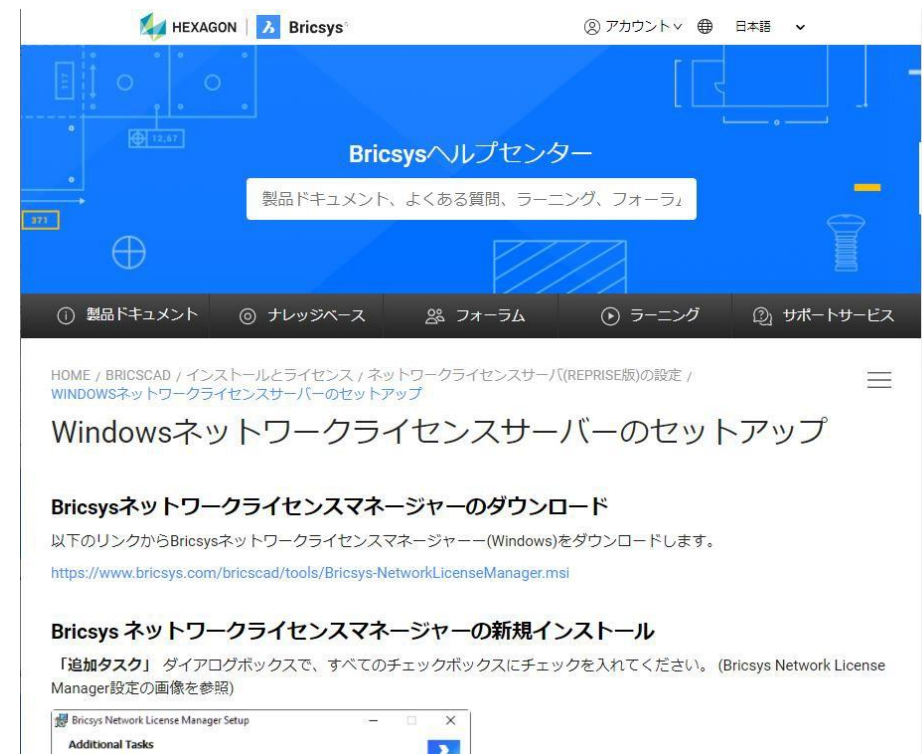
ライセンスマネージャのダウンロードとインストール

BricsCAD のネットワークライセンスを管理するBricsysネットワークライセンスマネージャ (RLM) のプログラムは、bricsys.com のウェブサイトからダウンロードできます。

ライセンスマネージャは、Windows 用と、Linux用があります。

以下の記事に記載されているリンクからプログラムをダウンロードします。

- [Windows ネットワークライセンスサーバーのセットアップ](#)
- [Linux ネットワークライセンスサーバーのセットアップ](#)
- それぞれの記事に記載されている手順に従ってライセンスマネージャのインストールを行ってください。
- Windows版はセットアッププログラムになっているので、セットアッププログラムを実行して指示に従って進めます。



ライセンスマネージャの管理画面

Bricsysネットワークライセンス マネージャ (RLM) のプログラムをインストールすると、ウェブページベースの管理画面を利用することができるようになります。

この管理画面で、ライセンスの利用状況や、ライセンスの利用をコントロールをするためのオプションファイルの編集、設定の再読み込みとサービスのリスタートなどを行うことができます。

Flexlm を利用したことがある方は Imtools に相当するものとお考え頂くと分かりやすいかもしれません。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2015, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

ISV bricsys status on [hostname] (port 49676)

bricsys software version	v12.2 (build:2)
bricsys settings version	v12.2 (build:2)
bricsys comm version	v1.2
debug log file	bricsys.dlog
report log file	C:\temp\vmreport_bricsys.log

Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start Time	03/30 09:37:28	03/30 09:37:30	03/30 15:13:02
Messages	56 (0/sec)	56 (0/sec)	2 (0/sec)
Connections	5 (0/sec)	5 (0/sec)	1 (0/sec)
Checkouts	3 (0/sec)	3 (0/sec)	0 (0/sec)
Denials	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
License Removals	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Connections	3		

License pool status

res	count	soft lim	inuse	res	timeout	share	checkouts	Show Usage
-2022	0	3	1	3	0	User&Host	2	usage...
-2022	0	2	0	2	0	User&Host	1	usage...



3

ネットワークライセンスの アクティベーション

ネットワークライセンスのアクティベーション

ネットワークライセンスのアクティベーションは、オンラインでアクティベートする方法と、オフライン（手動）でアクティベートする方法の2種類あります。

サーバーの設定ができていればシングルライセンスの認証と大きくは変わりません。

それぞれ下記の記事に手順が記載されていますので参照してください。

- [オンライン](#)
- [オフライン（手動）](#)

Memo :

ライセンスマネージャをインストールしているコンピュータがインターネット接続可能である場合は、オンラインでのアクティベーションが簡単です。

ライセンスマネージャをインストールしているコンピュータが外部へのネットワーク接続を許可されていない場合は、オフライン（手動）でアクティベートします。オフライン（手動）によるアクティベーションは、ライセンスファイルをダウンロードしてライセンスマネージャに登録する流れになります。



4

オンラインでの アクティベーション

オンラインでのアクティベーション：ステップ1

Windows でネットワークライセンスをオンラインでアクティベーションする流れを説明します。

まず、あらかじめ以下の点を準備をしておくこととスムーズです。

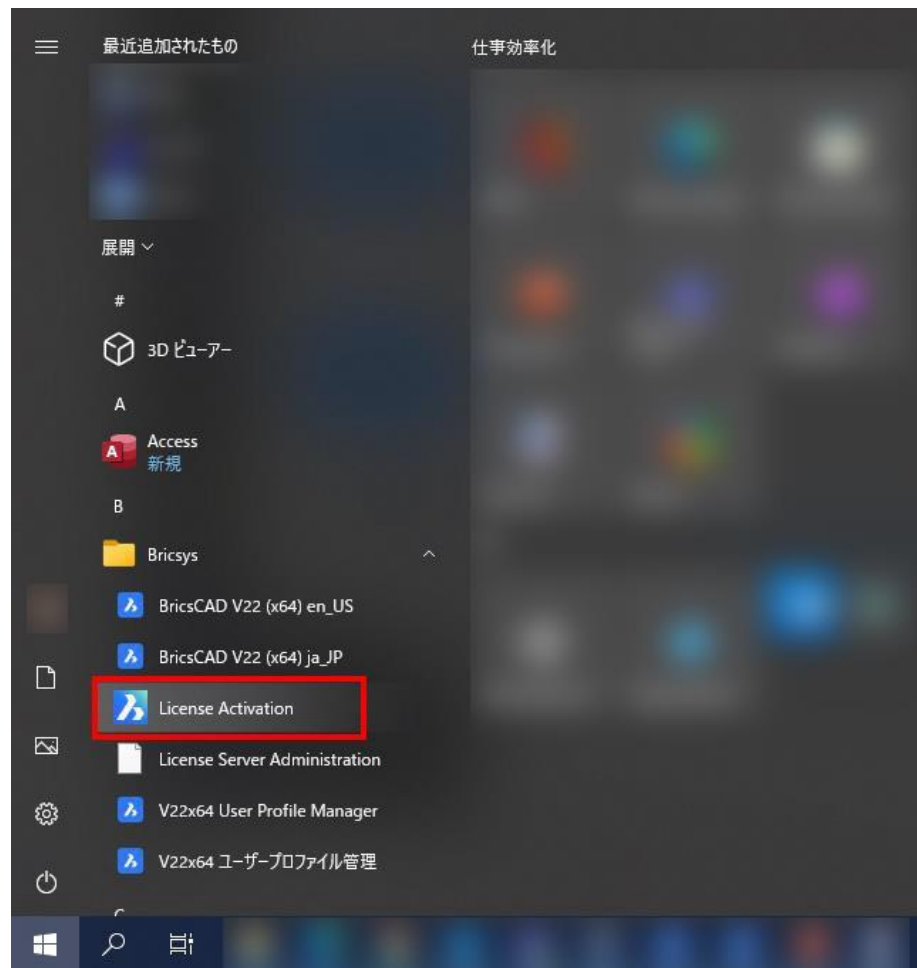
1. Bricsys Network License Managerをダウンロードしてインストールしておきます。
2. 認証するネットワークライセンスのライセンスキーを用意しておきます。
3. サーバーのポート開放しておきます。
 - **5053** : クライアントとのライセンス用
 - **5054** : Web UI用
 - **license.bricsys.com/actpro** にポート80でアクセス可能な状態にしておく。

上記のポートが解放されていない場合、認証できませんのでネットワークの管理者に相談してください。



オンラインでのアクティベーション：ステップ2

オペレーティングシステムの [スタート] メニューから
Bricsysの [License Activation] (ライセンス認証)
ショートカットをクリックします。

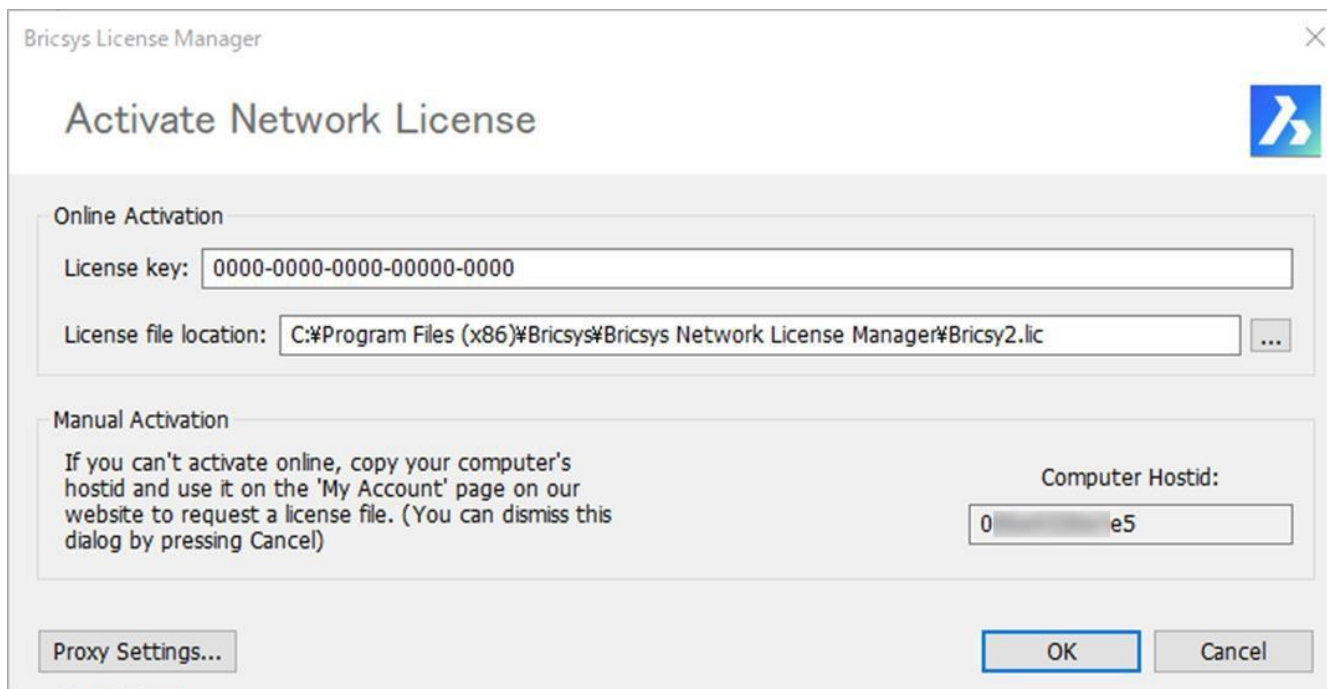


オンラインでのアクティベーション：ステップ3

Online Activation の License Key 欄に、登録するライセンスキーを入力します。

ライセンスキーを入力したら OK ボタンをクリックします。

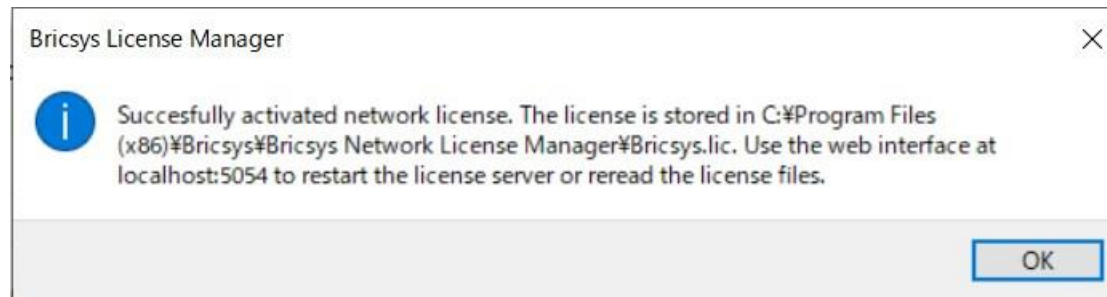
- ネットワークが Proxy 接続されている場合は、左下の「Proxy Settings...」から Proxy サーバーの設定を入力します。



オンラインでのアクティベーション：ステップ4

問題なく認証されたら、右イメージのような “successfully activated network license.” で始まるメッセージが表示されます。

OK ボタンをクリックしてアクティベーション作業の終了です。



クライアントPC にインストールされている BricCAD を起動して、問題なくライセンスが利用できるか確認します。

認証でエラーが出た場合や、クライアントPC で BricCAD を起動した際にエラーが表示された場合は、エラーメッセージの内容をもとに、下記の記事を確認してみてください。

- [ライセンスのエラーコード](#)



5

オフライン（手動）での アクティベーション

オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ1

Windows でネットワークライセンスをオフライン（手動）でアクティベーションする流れを説明します。

まず、あらかじめ以下の点を準備をしておくこととスムーズです。

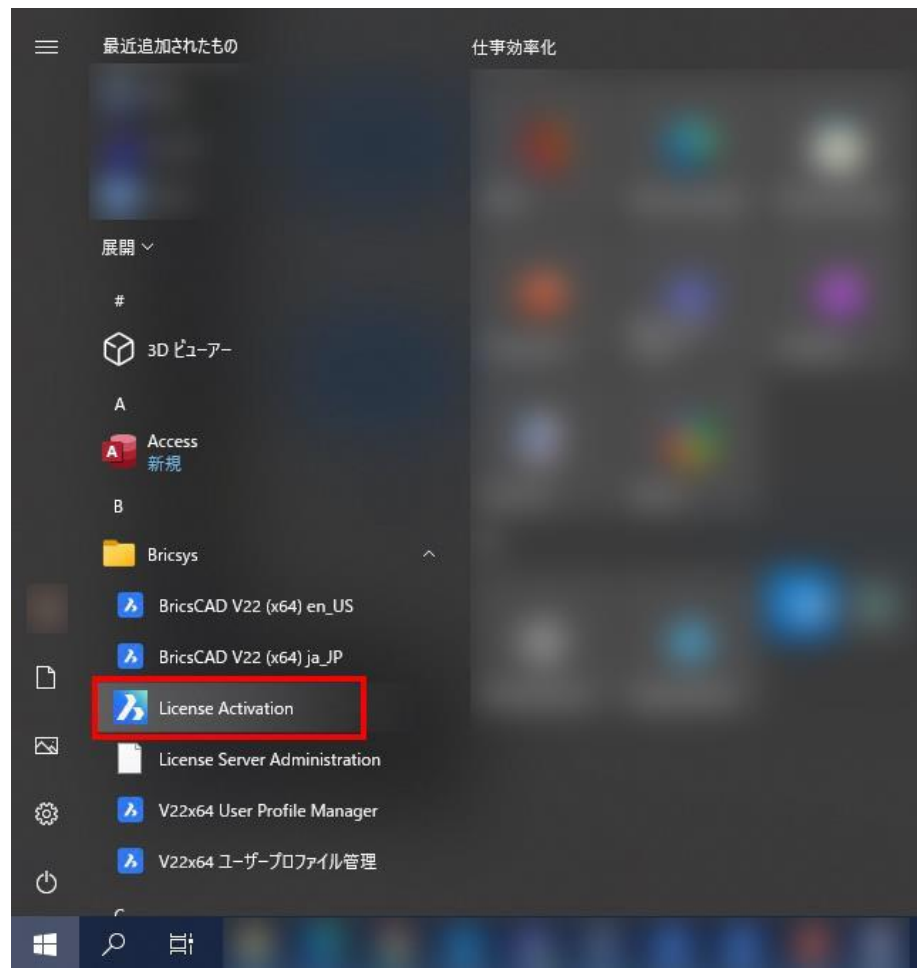
1. Bricsys Network License Managerをダウンロードしてインストールしておきます。
2. 認証するネットワークライセンスのライセンスキーを用意しておきます。
3. サーバーのポート開放しておきます。
 - **5053** : クライアントとのライセンス用
 - **5054** : Web UI用
 - 任意のポート : ISVサーバー用

ISVサーバー用の任意のポートについては、フェイルオーバーライセンスという複数台のサーバーでネットワークライセンスを運用する際に必要となるものなので、1台のサーバーで運用する場合は設定不要です。



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ2

オペレーティングシステムの [スタート] メニューから
Bricsysの [License Activation]（ライセンス認証）
ショートカットをクリックします。

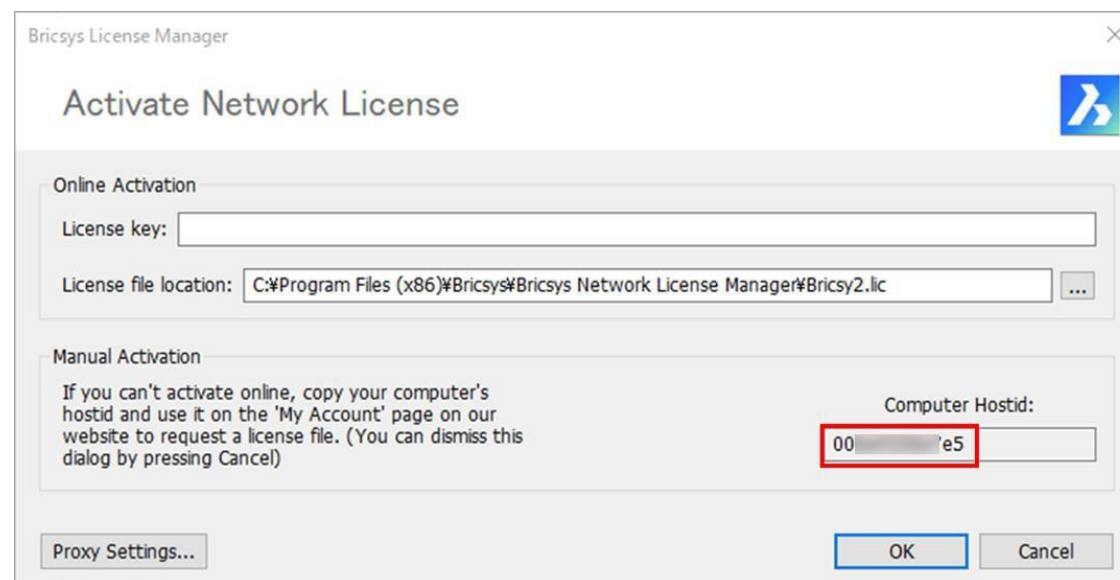


オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ3


ダイアログの Manual Activation にある Computer Hostid をコピーまたはメモします。

Computer Hostid をメモしたら Cancel ボタンをクリックして終了します。

コピーした場合は、ライセンスを手動で取得する PC に情報を渡しておくことと入力の手間を省けます。



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ4

1. インターネットに接続しているコンピュータで Bricsys ウェブサイトにログインします。
2. マイアカウントアイコン() をクリックし、メニューから“ライセンスの管理”を選択します。

なお、ネットワークライセンスが含まれている Bricsys アカウントでログインしてください。適切なBricsysアカウントがご不明な場合はご購入された販売パートナー様、または、BricsysJapan お客様窓口（ contact@bricsysjapan.com ）にご確認ください。



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ5

アクティベートしたいライセンスキーにマウスカーソルを合わせると、鉛筆アイコンが表示されるのでそのアイコンをクリックします。

なお、ライセンスタイプがネットワークライセンスになっていることも併せて確認しておきます。

My licenses 手動でBricsCADをアクティベート - Shapeの手動アクティベート

BricsCAD V22 Lite アップグレード

67...72 

オーナー: [blurred]
bought on: [blurred]
expires: [blurred]
メンテナンス: [blurred]
ライセンスタイプ: **Network license,**
Resale, 2 seats



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ6

ライセンスの詳細のページが表示されたら、下部のアクティベーション横にある“手動アクティベート”をクリックします。

The screenshot displays the 'ライセンス詳細' (License Details) page for BricsCAD V22 Lite. The main content area shows the following information:

- ライセンス詳細**
- BricsCAD V22 Lite - すべての言語**
- ライセンスキー: [Redacted]
- 日: [Redacted]
- Model: ネットワークライセンス
- ユーザー: 2
- 入力する: [Redacted]
- 有効期限モード: [Redacted]

Below the license details, there is a 'コメント' (Comments) section with an input field. The '管理者¹' (Administrators) section lists one administrator: [Redacted] (オーナー) with a link to '管理者を追加' (Add Administrator). A note below states: '(1) 管理者は、このライセンスを表示、アクティベート、取り消しすることができます。' (1) Administrators can view, activate, or deactivate this license.

The 'アクティベーション' (Activation) section shows the status: 'このライセンスはアクティベートされています。' (This license is activated). Below this, there is a table with columns 'アクティベーション日付' (Activation Date) and 'アクティベートされた (ホスト名)' (Activated (Host Name)). A red box highlights the '手動でアクティベート' (Manual Activation) button. At the bottom right, there is a link '詳細表示します。' (Show details) with a magnifying glass icon and a close icon.



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ7

[ホスト ID] 欄に、メモしたコンピュータのホスト ID を入力して、[アクティベート] ボタンをクリックします。

これで、ライセンスファイルが作成されダウンロードすることができる状態になります。

手動でアクティベート

ライセンス詳細

BricsCAD V22 Lite - すべての言語	
ライセンスキー	[REDACTED]
日	[REDACTED]
Model	ネットワークライセンス
ユーザー	2
入力する	[REDACTED]
有効期限モード	[REDACTED]

手動アクティベートはお客様のPCがインターネットに接続が出来ない時、あるいはBricsCADでアクティベーションエラー（失敗）の時のみにご使用ください。

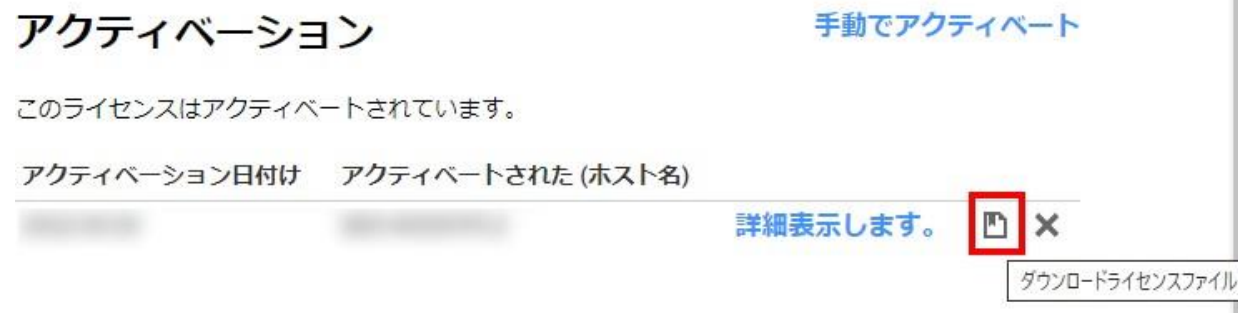
ホストID¹:

¹オフラインアクティベーションボックスの「ライセンス>変更」BricsCADのホストIDをご確認いただけます。



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ 8

[ライセンスファイルをダウンロード] ボタンをクリックします。



ライセンスファイル “BricsCAD<バージョン><グレード>.lic” が既定のダウンロードフォルダにダウンロードされます。

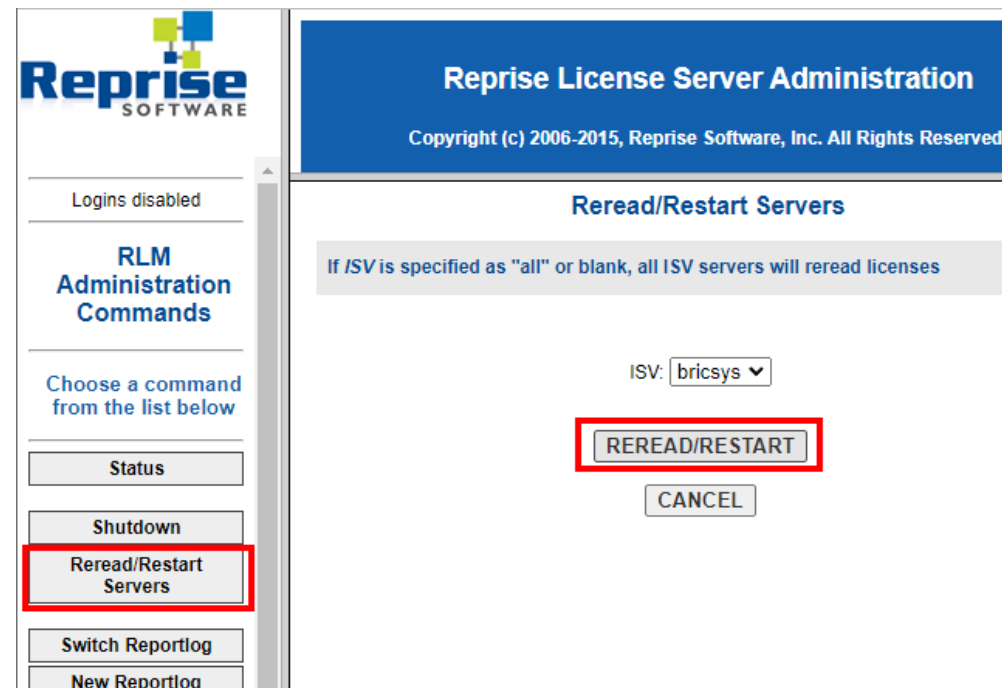
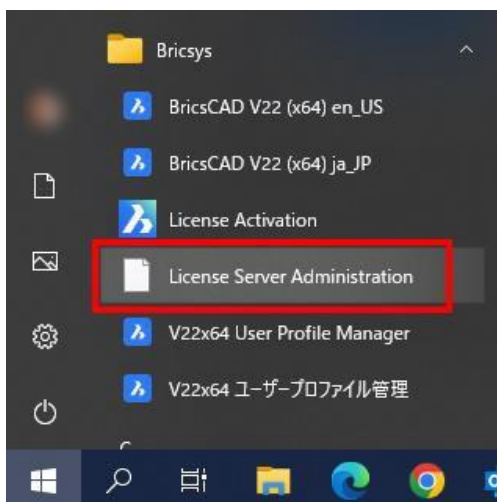
* ダウンロード時の動作は使用中のブラウザによります。保存ダイアログが表示された場合は任意のフォルダに保存します。

ダウンロードした、ライセンスファイルをサーバーの Bricsys ネットワークライセンス管理インストールフォルダ (既定では、C:¥Program Files (x86)¥Bricsys¥Bricsys Network License Manager) にコピーします。



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ9

スタートメニューの License Server Administration から RLM Web UIの管理画面（localhost:5054）を開きます。



管理画面の左メニューから "Reread/Restart Servers" をクリックし、ISV サーバー欄の下にある "Reread/Restart" をクリックして実行します。以上で、Repriseライセンスマネージャーがライセンスファイルを読み込んで使用できる状態になりました。



オフライン（手動）でのアクティベーション：ステップ10

Status ボタンでサーバーの状態を表示して
ライセンスファイルが読み込まれていること、
サービスが実行中であることを確認します。

クライアントPC の BricsCAD を起動してラ
イセンスが有効になっているかを確認します。

以上で完了です。

Reprise License Server Administration
Copyright (c) 2006-2015, Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Status for "rlm" on [redacted] (port 5053)

RLM software version	v12.2 (build:2)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rlm.log
license files	Bricsys.lic
	Bricsys1.lic

RLM Statistics

	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	03/31 15:45:36	04/04 00:00:48	04/04 09:40:21
Messages	23 (0/sec)	6 (0/sec)	0 (0/sec)
Connections	19 (0/sec)	4 (0/sec)	0 (0/sec)

EDIT rlm Options
SHOW rlm Debug Log

ISV Servers											
Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	OPTIONS	TRANSFER	SHUTDOWN	ACTIVATE
bricsys	49687	Yes	2	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys



6

クライアント PC の ライセンス設定と確認

BricsCAD をネットワークライセンスで起動する：ステップ 1

BricsCAD を起動します。

BricsCAD ランチャが表示されたら左下にある、「ライセンス管理」のボタンをクリックします。



BricsCAD をネットワークライセンスで起動する：ステップ2

Bricsysライセンス管理のダイアログが表示されたら、ネットワークライセンスの「サーバー名、または、IPアドレス」欄にライセンスサーバーのサーバー名か IPアドレスを入力してOKボタンをクリックします。

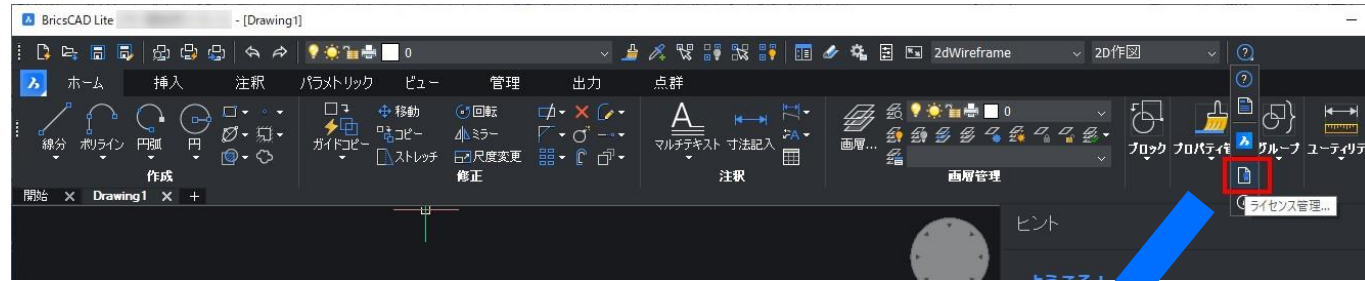
* ライセンスサーバーのサーバー名、IPアドレスはネットワークを管理する方にご確認ください。（ライセンスマネージャの管理画面からも確認できます。）
サーバーからライセンスが正常に取得できると、BricsCAD が認証されて利用可能になります。



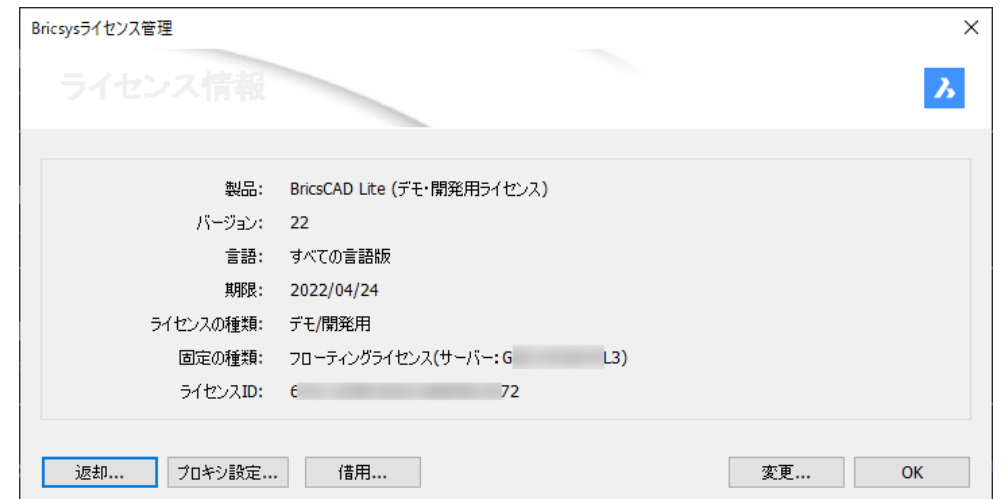
ポートの設定を標準の5053から変えている場合は、ポート番号も入力します。



BricsCAD 上でのライセンス確認



BricsCAD 上からのライセンス確認は、
ライセンス管理 (_licensemanager)
コマンドを実行します。



7

ライセンスマネージャの 管理画面概要

ライセンスマネージャの管理画面概要

Status
ライセンスの状態表示

Shutdown
ライセンスサーバーの停止

Reread/Restart Servers
ライセンスとオプションファイルの読み込み直しと、サービスの再起動。
※ ライセンスとオプションに変更が出た際は必ず実行します。

RLMのマニュアルPDF

サーバーのシステム情報
IPアドレスなどが確認できます。

The screenshot shows the Reprise License Server Administration interface. The main header displays the Reprise Software logo and the title "Reprise License Server Administration". Below the header, the status for "rlm" on "FL3 (port 5053)" is shown. A table lists RLM software and communication versions, debug log file, and license files. Below this is a table of rlm Statistics showing start time, messages, and connections. The interface includes buttons for "EDIT rlm Options" and "SHOW rlm Debug Log". At the bottom, a table lists ISV Servers with columns for Name, port, Running, Restarts, Server Status, License Usage, Debug Log, REREAD, OPTIONS, TRANSFER, SHUTDOWN, and ACTIVATE. The "Running" column for the "bricsys" server is highlighted as "Yes".

読み込んでいるライセンスファイル
この図では2つ読み込んでいます。

サーバーのホスト名とポート番号

高度なユーザ管理を行う場合のオプションファイル編集

サーバーの状態とライセンス使用状況確認

ライセンスサービスが実行中かどうか。ここがNOの場合、稼働していないのでReread/Restartで実行します。



8

導入時に多いトラブルと 対処方法

導入時の多いトラブルと対処方法

ネットワークライセンスサーバーの設定後に、**BricsCAD®** がサーバーへの接続を試みるときにエラー-17 を報告することがあります。原因として多くあるのが、ウイルス対策ソフトウェア、ファイアウォール、プロキシサーバーの存在の3点です。

ここではこれについて対処方法を説明します。エラー-17 以外のエラーの場合は、**BricsCAD** のヘルプセンターをご確認ください。

- ヘルプセンターの記事 [Error codes \(help.bricsys.com\)](https://help.bricsys.com)



導入時の多いトラブルと対処方法：ウイルス対策ソフトの影響

ウイルス対策ソフトの影響でライセンスサーバーに接続できないケースでは以下の点を確認します。

サーバー上でウイルス対策ソフトウェアが実行され、ライセンスサーバープログラム(Windows の場合は`rlm.exe`、Linux/Mac の場合は`rlm`)をブロックしている場合は、ウイルス対策設定でRLMサービスのブロックを解除する必要があります。

サービスのブロックを解除する方法については、利用中のウイルス対策ソフトウェアの設定を参照してください。



導入時の多いトラブルと対処方法：ファイアウォールの影響

サーバーとBricsCAD®の間にファイアウォールがインストールされている場合、ファイアウォールで2つのポート番号を開く必要があります（ポート番号5053とBricsysライセンスサーバーに割り当てられたポート番号）。

このポート番号は、ライセンスサーバーの起動時に動的に割り当てられます。

このポートをファイアウォールで開くには、まずサーバー上の **Bricsys.lic**ファイルで設定する必要があります。

1. ライセンスサーバー管理ウェブインターフェースを開きます(<http://localhost:5054>)。
2. 左側の[Status] ボタンをクリックします。「[LicenseServer] (ポート 5053)の "rlm" のステータス」ページが開きます。
3. ISVサーバーテーブルでポート番号を調べます。ポート番号は2番目の列の **bricsys** の行に表示されています。
4. このポート番号をコピーします。
5. テキストエディター(メモ帳、Geditなど)でBricsys.licファイルを開きます。ファイルのデフォルトの場所は、**C:\Program Files (x86)\Bricsys\Bricsys Network License Manager** です。

「ISV bricsys」の行を以下のように変更することで、ポート番号を修正することができます：**ISV bricsys port=[ポート番号]**
ここで、[ポート番号]は、ISVサーバーテーブルからコピーしたポート番号に置き換えてください。

ファイアウォールで、ポート番号5053とBricsys.licファイルに追加したポート番号の両方を開きます。

ライセンスサーバープログラムをシャットダウンし、再起動します。

Note: それでも問題が解決しない場合は、ライセンスサーバープログラム(Windows の場合は **rlm.exe**、Linux/Mac の場合は **rlm**)をファイアウォールの例外設定に追加し、ライセンスサーバーを再起動します。



導入時の多いトラブルと対処方法：プロキシサーバーを利用している影響

BricsCAD®とライセンスサーバーの間にプロキシサーバーが存在する場合、BricsCAD®でプロキシ設定を行う必要があります。

[「ネットワークライセンスを使用するためにプロキシ設定を永続的に構成する」](#)をご参照ください。





bricsys.com

